

≪阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業≫ 介護サービス事業所部会【報告書】			
サービス種別	(看護)小規模多機能型居宅介護事業所部会		
開催日時	令和6年3月26日(水) 15:45~17:00	開催場所	多機能ホームキムラ 1Fホール
部会代表者	木村	報告者	木村
議題	①阿南市たまたま箱DVD視聴 ②4つの場面～自分らしく暮らし続けられる医療・介護連携のまちづくり～③意見交換(次期会長・副会長について/食費値上げ)		

議題①②		阿南市たまたま箱DVD視聴 4つの場面検討。
検討した項目	DVD視聴にて、たまたま箱の紹介。エンディングノートの役割や書き方や要点を説明。緊急時やターミナルケアにおいてご本人様やご家族様と十分に時間をとって話をしていくことが大切である。また4つの場面(日常の療養支援、入退院支援、緊急時の対応、看取り)についても各事業所での事例や、医療との連携において課題となった事を意見交換行う。	
検討内容	阿南市たまたま箱の周知は十分進んでおらず、初めてDVDを見たという事業所が大半であった。ACP(人生会議)～もしもの時のために～も同様の状況でやはり独居の方のケースや家族とご本人の意向が違う場合に対応が難しいという意見があった。4つの場面については、事前に配布してあった内容の意見のほかに、”入院中に病院から呼ばれて対応する事が多い”や”退院カンファレンスで入所か在宅かで医療スタッフ・Drと、ご本人・家族との意見が合わないことがある”などがあった。緊急時に受け入れできなかったこと、延命について十分な話ができている状態ではない状態で急変した時に困るなどの意見があった。	
結論	阿南市たまたま箱やもしもの時のために(人生会議)など普段からご本人様と十分に話をしておく必要があり、ACPの研修や周知を進める必要がある。医療からも小規模多機能型居宅介護サービスの注目度は上がっており、ACPや4つの場面において医療と十分連携ができる様にケアカフェ等の機会を活かしていく。	
残された課題	ACP研修や周知の促進と、医療との円滑な連携を行うための機会を確保	
備考		

議題③		次期部会長について、食費の値上げについての意見交換
検討した項目	次期部会長について、食費の値上げについての意見交換	

検討内容	次回部会長について、希望者を募るが特に希望する事業所はなく、現在副会長のウィズ双葉(管理者)伊沢氏が会長になる事を快く引き受けてくださる。また副会長についてはホームいちご(管理者)石橋氏と多機能ホームキムラの木村となった。食事の値上げは各事業所、具体的な値段を打ち出しており参考にされた。値上げを決定している事業所が多いように感じた。
結論	次期(看護)小規模多機能型居宅介護 部会長 ウィズ双葉 伊沢英邦 副会長 ホームいちご 石橋稔之 副会長 多機能ホームキムラ 木村賢徳 で決定。 食費値上げについては昼食を50円~100円上げる等行う事業所がある。
残された課題	
備考	

【会議風景写真】

